

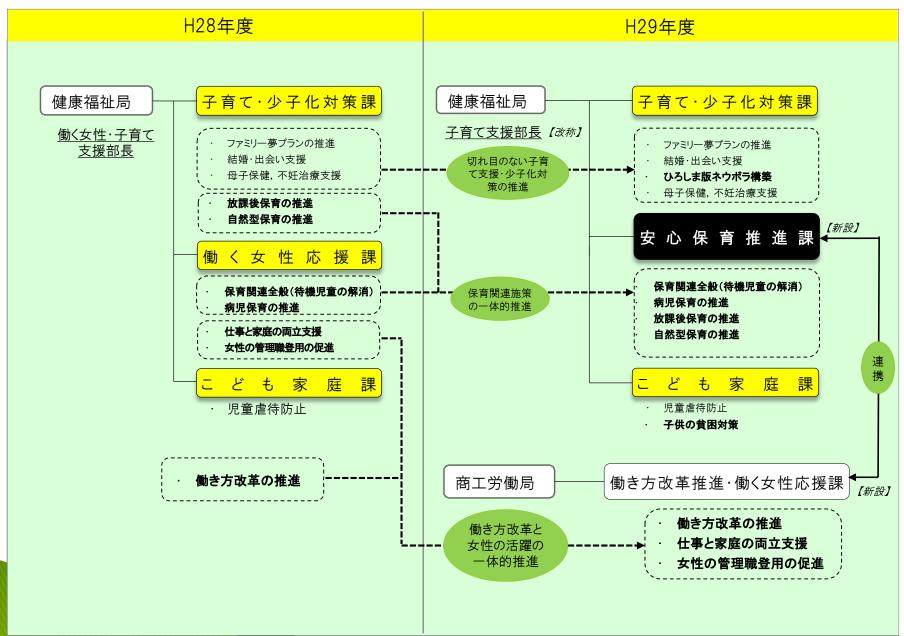
平成30年1月

広島県健康福祉局安心保育推進課

- 1. 認証団体は14団体
- 2. 認証制度の目的と認証基準
- 3. 制度創設の経緯 (H29.10.10創設)
- 4. 制度の見直し (I型とI型)
- 5. 今後の取組など







平成2 9年1 6 国新聞



目然保育の 認証 開始

県安全対策など質維持

けに「ひろしま自然保育認証制度」を始めた。野外保育を重視する 日まで受け付ける。 策などの基準を定めて一定の質を保ち、保護者に周知する狙い。認 証制度は都道府県で長野、鳥取に続き3県目。初回の認証申請を31 「森のようちえん」や同様の取り組みが全国的に増える中、安全対 県は、野外での遊びや体験を教育に生かす幼稚園や保育所など向 (明知隼二)

るかを、現地確認も踏 基準をクリアしてい きる場所がある▽安全 天候に応じた体験がで 管理マニュアルを作っ ている―など10項目の を受ける費用の半額 育の指導に関する研修 万円)を補助する。 (1団体当たり上限15 認証された団体に スタッフが自然保 体験できる機会が増

うつつある。 安心して

や保育所、

認可外の保 認定こども 認証制度は、幼稚園

る▽園庭以外に季節や

ーまえて判断し、

つになれば」として

のみ。

保護者の選択肢の

13) 3179=平日 いる。同課金082(5

が対象。自然体験活動 育施設を運営する団体

> を決定する見通し。 を活用した保育は定着 団体、県内では6団体 には、全国で約200 ネットワーク」(東京) 育推進課は「自然環境 が加盟する。県安心保 「森のようちえん全国 野外保育に取り組む

内に認証団体の第1

•	各県の自然保育認証の取り組み事例							
,		制度名	開始年月	認証園数	補助などの内容			
	鳥取	とっとり森・ 里山等自然保 育認証制度	2015年 4月		児童数に応じた運営費補助(半額程度) 第2子以降の保育料減免分の補助			
	長野	信州やまほい く認定制度	2015年 4月	111園	認可外施設の人件費補助(4分の1) 県の自然保育ポータルサイトで紹介			
	広島	ひろしま自然 保育認証制度	2017年 10月	_	研修費用の補助(半額) 県のホームページで紹介			

認証制度の目的と認証基準①



県内すべての子どもたちが、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などに 関わらず、より安心して、多様な自然保育を体験できる環境を充実させていく

県内で自然体験活動を積極的に行っている団体を、県独自の基準で認証し、活動の 情報発信等を行う

平成28年,県が行ったアンケート(対象:幼稚園,保育所,認定こども園922施設,回答率63.4%)では,自然体験活動を実施するにあたり・・・

- ①「安全面の確保が大変」(82.1%)
- ②「自然体験活動に関する知識やスキルが足りない」(42.7%)
- ③「活動する場所がない」(39.0%)
- ④「保護者の理解を得ることに課題がある」(20.5%)

・・・という調査結果

県として,乳幼児期の自然体験活動の充実に向けて取り組むこととし,自然体験活動の意義,実施する際の工夫,課題及び効果等について情報発信をする場として,自然保育の推進に向けたシンポジウムを開催

H30.3.10(土)14:00~ はつかいち文化ホールさくらぴあ

(テーマ)子どもの育ちにつながる自然体験活動とは 汐見先生をお迎えして

認証制度の目的と認証基準②

目的(「ひろしま自然保育認証制度実施要領」)



- 第1条「ひろしま自然保育認証制度」は、県内において、就学前の子供に対する教育、保育又はこれに類する子育て支援等(以下「保育等」という。)を行う団体であって、この要領に定める基準を満たすと認められる団体を認証することにより、次の各号に掲げる事項の推進を図ることを目的とする。
- (1) 広島県の豊かな自然環境や地域資源を活用した自然体験活動の推進を通じた,子供たちが 心身ともに健やかに育つ環境の充実
- (2) 自然保育を実施する団体に対する安心感や社会的な認知の向上を通じた, 保育環境の多様化と, ファミリーフレンドリーな広島県づくり
- (3) 自然体験活動や自然保育に関する学び合いや交流の支援を通じた,教育・保育施設等における自然体験活動や自然保育の充実

認証基準の目的と認証基準③ 認証基準(エ型)の概要

保育等の内容

・保育所保育指針,幼稚園教育要領又は幼保連携型認定こども園教育・保育要領を尊重し、子供の状況や発達過程を踏まえた教育・保育活動を行うこと。

自然体験活動

・3歳以上の子供について、**屋外を中心とした自然体験活動の時間が、** 平均して週10時間以上となっていること。

・園の活動方針や指導計画等に、自然体験活動に関する事項を入れ、計画的に実施すること。

屋外での活動場所

・屋外での自然体験活動に使用できる場所(自然フィールド)が園庭以外にあり、季節や天候に応じて様々な自然体験活動ができること。

安全確保

- ・屋外で子供の体験活動を行う際は、十分な安全管理に配慮した保育者 の配置体制をとっていること。
- ・<u>屋外で子供の体験活動を行う際の安全管理マニュアルを作成</u>している こと。かつ、保育者と保護者に周知していること。

研修(質の担保)

- ・自然保育を行う上で有効であると考えられる<u>外部の研修等の場に参加</u> した常勤の保育者がいること。
- ・保育者は、幼児の教育・保育を行う上で有効であると考えられる研修 (一部の保育者がこれらの研修を受講し、当該保育者が他の保育者及び 管理者に研修内容を伝達するものを含む。)を年1回以上受講すること。

制度創設の経緯①

平成26年度

「鳥取・広島両県知事会議」森のようちえんの認証制度について、連携して今後のあり方を検討

平成27年度

- 鳥取県・長野県、 自然保育に係る認証・認定制度開始
- 鳥取県, 三重県と合同で長野県を視察
- 県内視察や有識者との個別の意見交換を実施

平成28年度

- 県内視察や有識者との意見交換を継続実施
- 園所における自然体験活動に係るアンケート調査を実施
- 認証制度の創設等に係る経費を予算要求

平成29年度

- 検討会議の設置(計5回)
- 認証制度創設(H29.10)
- ■認証団体の決定と新たな認証基準(H30.1)

制度創設の経緯②

《検討会議委員》

役 職	氏 名
広島大学大学院教育学研究科教授	七木田 敦
広島文教女子大学人間科学部教授	杉山 浩之
公益財団法人広島県私立幼稚園連盟 理事長	米川 晃
広島県保育連盟連合会会長	小川 益丸
認定こども園さざなみの森 園長	難波 元實
北広島町福祉課長	清見 宣正
特定非営利活動法人キッズNPO 理事長	吉本卓生
森のようちえん まめとっこ 代表	石井 千穂

制度創設の経緯③

第1~4回検討会議

第1回 (H29.4.18)

• 検討会議立ち上げ

事務局から事業の趣旨を説明,自然体験活動について 意見交換

第2回(H29.6.12)

● 県内の自然体験活動団体(2つ)から活動状況報告

• 事業の方向性について意見交換

第3回(H29.7.31)

● 事務局から認証基準(素案)を提示

事業における用語の定義と、期待される効果について 意見交換

第4回(H29.9.6)

● 認証基準(案)と認証手続き(案)について意見交換

【制度創設後】第5回(H29.12.26) ·

・新たな認証基準について意見交換

第1回検討会議(H29.4.18)の概要

【事務局案】事業の趣旨について

- ✓ 一定の基準に基づく県の認証制度を導 入。
- ✓ 県内外にその取組を広く発信していく ことを通じて、広島県内で行われてい る自然保育に対する関心や理解、信頼 性の向上等を推進する。
- ✓ 広島県ブランドの一つである「都市と 自然の近接性」を生かした魅力ある子 育て環境について情報発信を行い、移 住・定住を促進する。

委員からの意見(主なもの)

- 認証制度の目的が不明確。
- 認証の対象は施設なのか,各施設の カリキュラムを認証するのか。
- 認証に際しては,教育・保育の質の 評価が必要
- ・ 幼稚園教育要領,保育所保育指針, 「遊び 学び 育つひろしまっ子!」 推進プラン(※)との整合性に留意す べき。

※「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プランとは

子供が育つ環境に関わらず、県内すべての乳幼児に育みたい力の育成に向けた教育・保育が行われるよう、目指す姿を明確にし、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方や具体的な施策をとりまとめた(平成29年3月)

第2回検討会議 (H29.6.12) の概要

県内の自然体験活動団体(2団体)から活動状況を報告

【事務局案】**事業の方向性について**

- ①自然保育を行ういわゆる「特化型」団体の認証と,
- ②人材育成等の自然保育の推進に係る事業(認証を前提としない,いわゆる「一般型」)の2本立て

委員からの意見(主なもの)

- 事業の「期待される効果」について、子供の視点からの効果を丁寧に整理すべき。
- 「自然保育」という言葉は, 「放任保育」と誤解される可能性 がある。
 - 区別するため「しぜん保育」という表記はどうか。



第3回検討会議 (H29.7.31) の概要

【事務局案】認証基準(素案)

- ✓ 先行する2県(鳥取県・長野県)を参考に認証基準(素案)作成
- ✓ 表記は「しぜん保育」
- ✓ 当面「特化型」のみ議論(「一般型」の議論は後回し)
- ✓ 事業による効果を,子供・保護者・各団体等に区分して整理

委員からの意見(主なもの)

- 認証基準は、県が「お墨付き」を 与えるものであり、慎重に設定す べきであるが、一方で、実態に合 わない基準も避けるべき。
- 安全確保のためには厳しい基準で もやむを得ない。野外の活動が前 提であり、保育者の人数は認可園 の基準より厳しい基準を求めるこ とが必要ではないか。
- 幼保小連携について、自然保育ならではの文言を入れてはどうか。

ひろしま自然保育認証制度の創設に向けた検討について

第4回検討会議 (H29.9.6) の概要

【事務局案】

認証基準の修正案

- ✓ 制度名を「ひろしま自然保育認 証制度」とする(×「しぜん保 育」)
- ✓ 当面, 「特化型」のみ制度開始,「一般型」は年内に別途検討

認証のための手続き(案)

- ✓ 認証にあたっては,学識経験者 等から意見聴取
- ✓ 2年の更新制とし、認証後の報告は不要

委員からの意見(主なもの)

- 認証基準における自然保育の時間は,一般型との差別化を図るためにも「屋外における」という条件をつけてはどうか。
- 認証団体には,一定の事業報告 は求めるべき。自らの活動を振 り返り, PDCAを回すことにつ ながる。その場合,更新制度は 不要。
- 認証制度ができた後,自然体験 活動ができるフィールド等の情 報を広く伝える取組など,メッ セージの発信が大切。

制度の見直し①

第5回検討会議 (H29.12.26)

〇 趣旨

今後、自然保育認証制度を通じ、自然体験活動に対する機運を醸成していくため、より多くの団体が、この制度に基づく認証を得て自然保育に取り組むことができるよう、 当初策定した基準のほか、より緩やかな基準を追加する。

○ 論点 (次の3点のほか、名称などについて議論した。)

項目	現行の基準(I型)	新たに設ける基準(Ⅱ型)	
位置付け	質・量ともに充実した自然体験 活動を実施している団体	日々の保育等に自然体験活動を積極的に 取り入れている団体	
自然体験活動	1人あたり週10時間以上	(第1案) <mark>1人あたり週5時間以上</mark> —(第2案)1園あたり週6時間以上	
フィールド	自然フィールドが園庭以外にあること	自然フィールドが園庭以外にあること ただし、園庭において多様な自然体験活動 が実施できる場合は、この限りではない。	

制度の見直し②

知事定例記者会見 (H30.1.9)

「ひろしま自然保育認証制度」認証団体の決定と新たな認証基準について

1 要旨

- (1)昨年10月に創設した ひろしま自然保育認証制度 により, 1回目の認証を 14団体に対して行いましたので, 次により認証式を行います。
- (2) 今後、より多くの団体にこの制度を活用して頂き、自然保育を推進していくため、新たな認証区分を設け、本日から第2次募集を開始します。

2 認証式

- (1) 日時 平成30年1月19日(金) 16:30~
- (2)場所 県庁北館(2階)第一応接室
- (3) 内容 認証団体へ認証書と記念品(広島県産ヒノキ材プレート) を贈呈

3 新たな認証基準

- (1) 2つの認証区分 *…スライド番号16のとおり…*
- (2) 第2次募集スケジュール(Ⅰ型・Ⅱ型のいずれも募集)
 - (ア)募集期間 平成30年1月9日(火)~3月19日(月)
 - (イ) 認証決定 平成30年4月下旬(予定)



今後の取組など①(次年度の取組予定)

▶ <u>認証制度</u>

- ・自然保育を実施する団体の認証
- ・認証団体に対し,研修等に要する経費の一部補助



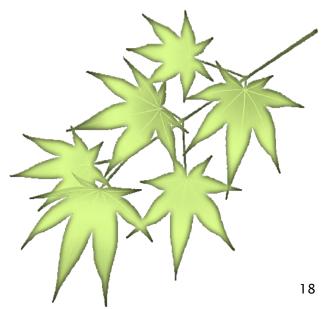
▶ 人材育成

- ・認証団体の学び合い,外部専門人材のノウハウの共有を図るための実践交流会
- ・希望に応じて, 自然体験活動の専門家を派遣
- ・安全管理に関する専門講習の開催

▶ <u>情報発信</u>

・リーフレットの作成・配布





今後の取組など②

是非、ご参加ください!

自然保育の推進に向けたシンポジウム

日時 平成30年3月10日(土) 14時~17時 場所 はつかいち文化ホールさくらぴあ 大ホール (広島県廿日市市下平良一丁目11-1)

プログラム

- ①講演 『子どもの育ちにおける自然体験活動の意義 ~子どもの育ちにつながる自然体験活動とは~』 汐見 稔幸 氏
- ②パネルディスカッション

(パネリスト) 広島県内の幼稚園・保育所(認証団体)園長等

(テーマ)自然体験活動の "保育者にとっての意義" "実践のあり方" "実際上の課題"

お申込みは、広島県庁安心保育推進課の組織メールへお願いします。 メールアドレス: fuhoiku@pref.hiroshima.lg.jp

> 【件名】『自然保育シンポジウム参加申込』 と入力してください。 【本文】『お名前と所属・役職』 を入力してください。

今後の取組など③

(今後の展望)

- ★自然体験活動の機運醸成
- ★自然体験活動の事例収集と発信
- ★認証制度を活用した移住・定住促進に 向けた県外への情報発信
- ★自然体験活動の充実を図るための森林等の 整備促進に向けた関係諸機関との連携













ご清聴、ありがとうございました。

広島県安心保育推進課

